

平成28年度情報処理学会九州支部報告会次第

平成28年5月13日（金）15:00～16:00

NTTDATA 博多駅前ビル B1F B102 会議室

1. 支部長挨拶 中嶋 卓雄（東海大学）
2. 本部来賓挨拶 加藤 由花 理事（東京女子大学）
3. 情報処理学会九州支部平成27年度奨励賞表彰
4. 平成27年度事業報告
5. 平成27年度決算報告
6. 平成28年度支部役員
7. 平成28年度事業計画案
8. 平成28年度予算案
9. 閉会

特別講演会

日時： 2016年5月13日（金）16:00～17:00

場所： NTTDATA 博多駅前ビル B1F B102 会議室

講師： 長尾 年恭 氏 （理学博士）

東海大学 海洋研究所長

題目：『2020年の危機』

内容：

東日本大震災（311）から早5年。この震災はそれまでの日本列島の地下の状態を一変させてしまった。いま、日本列島は9世紀以来（1,100年ぶり）の大地動乱の時代に入ったと考えられる。311は首都圏直下型地震および想定東海地震の発生時期が早まるセンスの歪変化を日本列島にもたらした。さらに20世紀後半は地震・火山活動も極めて低調な時期であり、高度経済成長はこのような地学的な静穏期にも助けられたと考えられる。

311以前から、日本列島における巨大地震は9年（正確には8-10年周期）で繰り返す可能性が高い事が知られていた。9世紀には864年に青木ヶ原樹海を作った富士山・貞観の大噴火、869年に前回の311とも言える貞観地震（最近の研究ではM9クラス）、その9年後に首都圏直下型地震と言える関東南部地震（相模・武蔵の国で大きな被害）、さらにその9年後に仁和の地震（南海トラフ沿いの巨大地震、今の道頓堀に約3mの津波）が発生している。さらに火山灰は実際には微細なガラスの粒子であり、IT機器に甚大な影響を引き起こす可能性が高い。

過去1,500年間については、古文書により、南海トラフ沿いの巨大地震の歴史がほぼ明らかとなっている。重要な事実として、駿河湾内だけが震源域となる「想定東海地震」は発生した事はない（→東海地震が発生するときは必ず連動している）。この事実からも次の東海地震は、最低限東海・東南海が連動すると80%以上の地震学者は考えている。

危機の分散という観点から、企業はどのような点に注意してBCP等を行っていくべきか、自然科学的な見地からいくつかの提案も試みてみたい。

情報処理学会九州支部 平成 27 年度奨励賞受賞者

<第 68 回電気・情報関係学会九州支部連合大会より>

富田 祐作(とみた ゆうさく)(九州大学)

「3次元空間中におけるキラリティの無い分散ロボットの平面形成問題」

川東 輝舟(かわひがし きぶね)(九州工業大学)

「非軸対称鍛造品を対象とした工程設計支援のための基本形状操作関数に関する一考察」

坂本 朋鴻(さかもと ともひろ)(九州工業大学)

「時空間的局所性を考慮した twitter からのイベント情報抽出」

中林 弘光(なかばやし ひろみつ)(同志社大学)

「室内における外光照度分布の検証および机上面外光照度推定手法の検討」

碓 圭介(いかり けいすけ)(佐賀大学)

「タブレット端末を用いた屋内空間における無線 LAN 電波強度測定システムの開発」

<火の国情報シンポジウム 2016 より>

上畑 恭平 (かみはた きょうへい) (九州大学)

「タイトルと説明文に着目した利用者投稿サイト動画の多様性分析」

十楚 航 (じゅうそ わたる) (宮崎大学)

「三次元頂点情報を用いた訓練画像生成による画像分類精度の向上」

矢部 嘉人 (やべ よしと) (福岡大学)

「道路のモルタル吹付法面に対する亀裂検出と亀裂幅測定のための画像処理に関する研究」

藤井 彬 (ふじい あきら) (九州工業大学)

「低遅延かつ軽量なセンサネットワーク実現のための技術研究」

門出 顕宏 (もんで あきひろ) (九州大学)

「限られた視界を持つ1台のロボットによる線分被覆問題」

<若手の会セミナー2015 より>

谷川 郁太 (たにかわ いくた) (九州大学)

「C#のためのコンテキスト指向プログラミング環境」

平成27年度年度事業報告

会議名	開催日	会場	出席
【1】 支部報告会	平成27年5月8日	JR博多シティ 10階 大会議室 A+B	20名
特別講演会 講師：藤本 正代 氏(工学博士) 題目：情報セキュリティ～今、企業の現場で何が起きているか～	平成27年5月8日	JR博多シティ 10階 大会議室 A+B	21名
【2】 定例役員会等 4回			
新旧役員会	平成27年5月8日	JR博多シティ 10階 大会議室 A+B	16名
第1回幹事会・奨励賞選定委員会	平成27年10月2日	NTTDATA博多駅前ビルB1F B101-(1)会議室	10名
第2回幹事会	平成27年12月9日	NTTDATA博多駅前ビルB1F B101-(1)会議室	11名
第3回幹事会・奨励賞選定委員会	平成28年3月3日	宮崎大学	6名
【3】 若手の会セミナー	平成27年9月14日 ～15日	志賀島休暇村	19名
【4】 電気・情報関係学会九州支部連合大会	平成27年9月18日 ～19日	福岡大学	768名
【5】 火の国情報シンポジウム	平成28年3月2日～ 3日	宮崎大学	130名
【6】 講演会等 共催 講演会：Measurements for Successful Software Project Management	平成27年7月8日	NTTDATA博多駅前ビルB10 1会議室	20名
後援			
【7】 奨励賞 若手の会セミナー 1名 電気・情報関係学会九州支部連合大会 5名 火の国情報シンポジウム 5名 の表彰を行った			

平成27年度決算報告

収入	2015年度	
	予算	決算
本部からの繰入相当額	1,996,000	1,996,000
支部交付金相当額	1,996,000	1,996,000
記念事業支援金相当額	0	0
事業収入	5,863,000	6,186,976
若手の会セミナー	60,000	51,000
火の国シンポジウム	130,000	173,000
支部連合大会割戻金	120,000	409,976
支部連合大会	5553000	5553000
補助金収入	0	0
〇〇〇からの補助・助成	0	0
繰越金	2,328,967	2,328,967
雑収入(利息等)	0	21
当期収入合計(A)	10,187,967	10,511,964

支出	2015年度	
	予算	決算見込
事業費	7,159,000	7,021,634
支部報告会	100,000	184,077
講演会	50,000	10,324
若手の会セミナー	370,000	322,730
火の国シンポジウム	270,000	248,843
支部連合大会分担金	560,000	461,000
奨励賞表彰	256,000	241,660
支部連合大会	5553000	5553000
管理費	1,131,000	1,001,227
幹事会	210,000	112,305
通信費	10,000	25,452
事務委託会社への委託費	410,000	372,000
ホームページサーバ使用料	486,000	486,000
雑費	15,000	5,470
予備費等(任意)	0	0
当期支出合計(C)	8,290,000	8,022,861
当期収支差額(A-C)	1,897,967	2,489,103

連合大会に関係した予算

支部長 中嶋 卓雄

連合大会に参加する学会として、学会が下記のように2つのグループに分類されている。

主当番学会

情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会

副当番学会

映像情報メディア学会、電気設備学会、日本音響学会、IEEE学会、照明学会

主当番学会は、学会開催に関して当番となる役割があり、情報処理学会においても、3年に1度当番学会の役割が回ってくる。

予算も主当番学会と副当番学会では異なり、当初の分担金収入では、平成27年度においては

主当番学会	¥461,000	となり、合計	¥1,383,000
副当番学会	¥50,000	となり、合計	¥250,000
合計	¥1,633,000	であった。	

最終的に学会終了後、余剰金が発生すれば、大会委員会によって、主当番、副当番の役割、当初の分担金の額を考慮して、余剰金を返却することになっている。

平成27年度においては、

1. 講演参加収入において、参加者数は減少したが、非会員の参加数などで、予算よりも上回る。
 2. 企業協賛なども予算を上回る。
 3. 著作権分担金が約16万円と予算の3倍の収入があった。
 4. 支出も会場費が発生せず、予算を下回った。
- ことにより、昨年度の倍となる約120万円の余剰金が発生した。

具体的には、決算は、

・大会総収入	6,120,018 円
・大会総支出	4,890,091 円
差 額	1,229,927 円

【返金額】 余剰金 1,229,927 円 ÷ 3 学会 = 409,975.67 円

・ 電子情報通信学会 409,975 円

・ 電気学 409,976 円

・ 情報処理学会 409,976 円

※ 端数分は今年度主当番と次年度主当番に加算

【確定分担金額】

一時金 461,000 円 - 返金 409,976 円 = 分担金 51,024 円

となった。

以上

H28年度情報処理学会九州支部 役員(敬称略)

役職名	氏名	所属	年次
支部長	中嶋卓雄	東海大	2
幹事	坂内英夫	九大	1
	湊田孝康	鹿児島大	1
	澤田 直	九産大	1
	中村 亘	富士通QNET	1
	片峯恵一	九工大	2
	池田 諭	宮崎大	2
	吉武 浩	富士ゼロックス	2
	小島俊輔	熊本高専	2
評議員 支部 委員	吉田隆一	九工大	2
	大竹哲史	大分大	2
	富浦洋一	九大	1
	萩尾恒亮	正興 I Tソリューション	1
	田口雅晴	富士通九州システムズ	1
	吉松則文	ISIT	1
	堀 良彰	佐賀大	1
	飯田全広	熊本大	1
	山崎 進	北九州市立大	2
	Leonard Barolli	福岡工業大	2
	河北隆生	熊本県産業技術センター	2
	竹下 力	KIS	2
後藤裕治	NTTデータ九州	2	
事務局	松本玲来		
電子広報	中村吉勝	NTTデータ九州	

H28年度事業計画

2016年度事業として、下記の事業を計画し、会員相互の啓発と交流を図る。

【1】支部報告会	2016年5月13日 NTTデータ 開催予定 九州
議題1:新年度役員について 議題2:2015年度事業報告ならびに収支決算承認について 議題3:2016年度事業計画ならびに収支予算決定について 議題4:その他 特別講演会 講師: 長尾 年恭 氏 (理学博士) 東海大学 海洋研究所長 題目:『2020年の危機』	
【2】役員会等 4回	
幹事会および新旧役員会を実施する。	
【3】若手の会セミナー	2016年9月開催 予定
泊まり込みのセミナーにより、若手研究者・技術者による研究開発活動の発表並びに、会員相互の交流の場を設ける。	
【4】第69回 電気・情報関係学会九州支部連合大会	2016年9月29- 30日開催予定 宮崎大学
宮崎大学で開催予定(当番学会:電気学会、2018年が情報処理学会)	
【5】火の国情報シンポジウム2017	2017年3月開催 鹿児島大 予定 学
支部会員の研究発表の場を設ける。 鹿児島大学で開催予定	
【6】講演会、セミナー等 5回程度	
九州支部主催、共催、後援などにより、支部会員にとって有用なテーマで講演会、セミナーを開催する。	
【7】表彰	
奨励賞表彰 九州支部奨励賞受賞規定に基づき、火の国シンポジウム、若手の会、及び電気・情報関係学会九州支部連合大会で優秀な発表を行った若手の研究成果を評価し、奨励賞表彰を行う。	

平成28年度会告(案)

平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 開催案内および講演募集

- 期 日 : 平成28年9月29日(木)・30日(金)
- 会 場 : 宮崎大学(木花キャンパス)
- 重要な日程 : 1 講演申込(タイトルとアブストラクト)
6月13日(月)～7月13日(水)
講演費の振込期限:7月14日(木)
- 2 講演論文原稿受付
6月13日(月)～8月10日(水)24:00
- 3 聴講事前申込, 追加CD-ROM事前申込
6月13日(月)～8月12日(金)24:00
聴講費・CD-ROM購入費の振込期限:8月15日(月)
- 講演者 : 原則、主催学会会員に限ります(当支部所属に限られません)が、非会員の講演も可能です。会員資格での講演申込は、所属学会の会員番号が求められますので、未入会の方はこの機会にいずれかの学会へのご入会をお勧めいたします。学会によっては、入会申込から入会承認まで2ヶ月ほどかかる場合もありますので、ご入会は早めの手続をお願いいたします。
(※入会申込時に発行される仮番号は受付不可)
- 講演内容 : 最近行った研究、計画および工事報告、現地試験報告、新製品の紹介など。
- 参加費 : 講演:1件 主催学会会員 4,000円、非会員 8,000円
聴講:主催学会会員 4,000円、学生 1,000円、非会員 6,000円
※聴講は事前申込の払込期限までに支払の場合 1,000円引き
- 協賛企業講演 : 協賛いただいた企業の皆様に活動内容・製品などについてご講演いただける
協賛企業展示 : 機会を設けております。また、同内容をご展示いただけるスペースを用意いたします。詳しくは大会サイトをご覧ください。
- 大会サイト : <http://www.jceee-kyushu.jp/>
- 主催 : 電気・情報関係学会九州支部連合大会委員会
(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(一社)情報処理学会、
(一社)照明学会、(一社)電気設備学会、(一社)映像情報メディア学会、
(一社)日本音響学会の各九州支部、IEEE Fukuoka Section
- 問合せ先 : 電気・情報関係学会九州支部連合大会事務局
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-2-28 南館8F
info2016@jceee-kyushu.jp

H28予算案

収入	2015年度		2016年度
	予算	決算	予算
本部からの繰入相当額	1,996,000	1,996,000	1,866,000
支部交付金相当額	1,996,000	1,996,000	1,866,000
記念事業支援金相当額	0	0	0
事業収入	5,863,000	6,186,976	310,000
若手の会セミナー	60,000	51,000	60,000
火の国シンポジウム	130,000	173,000	130,000
支部連合大会割戻金	120,000	409,976	120,000
支部連合大会	5553000	5553000	0
補助金収入	0	0	0
〇〇〇からの補助・助成	0	0	0
繰越金	2,328,967	2,328,967	2,489,103
雑収入(利息等)	0	21	0
当期収入合計(A)	10,187,967	10,511,964	4,665,103

支出	2015年度		2016年度
	予算	決算見込	予算
事業費	7,159,000	7,021,634	1,361,000
支部報告会	100,000	184,077	100,000
講演会	50,000	10,324	50,000
若手の会セミナー	370,000	322,730	350,000
火の国シンポジウム	270,000	248,843	250,000
支部連合大会分担金	560,000	461,000	465,000
奨励賞表彰	256,000	241,660	146,000
支部連合大会	5553000	5553000	
管理費	1,131,000	1,001,227	1,046,000
幹事会	210,000	112,305	150,000
通信費	10,000	25,452	10,000
事務委託会社への委託費	410,000	372,000	400,000
ホームページサーバ使用料	486,000	486,000	486,000
雑費	15,000	5,470	0
予備費等(任意)	0	0	0
当期支出合計(C)	8,290,000	8,022,861	2,407,000
当期収支差額(A-C)	1,897,967	2,489,103	2,258,103

支部規約

1982. 1. 27 制定
2002. 5. 10 改訂
2012. 3. 21 発効 (組織制度変更)
2013. 10. 18 改訂

(設置)

第1条 情報処理学会定款第52条により、九州地域（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）に九州支部を置く。

(目的・事業)

第2条 九州支部（以下「支部」という）は、九州地域に在住または勤務する会員（以下「九州支部会員」という）の相互協力により、本会の目的達成のため、定款第4条に掲げる範囲において必要な事業を行う。

(支部の運営組織・構成)

第3条 支部に、次の九州支部運営委員（以下「支部運営委員」）を置く。

(1) 支部長：1名 (2) 支部幹事：8名以内 (3) 支部委員：若干名

2. 支部長および支部幹事は九州支部正会員の内から、また支部委員は九州支部会員の内から互選し、理事会の承認を得るものとする。任期は2年とする。
3. 支部長は、必要の都度、支部運営委員で組織する九州支部運営委員会（以下「支部運営委員会」）を開催し、支部の円滑な運營業務を統括する。
4. 支部幹事および支部委員は、支部長を補佐し、支部の業務を遂行する。

(支部の運営)

第4条 支部の運営は、理事会で承認された年度計画および予算により行う。

2. 支部運営委員会は、毎年指定された時期までに翌年度の事業計画案、予算案および事業報告を作成し、理事会に提出するものとする。
3. 支部運営委員会は、九州支部会員に対して支部の活動状況（諸事業の報告・計画、収支の状況、支部運営委員の構成等）を報告するものとする。

(附 則)

第5条 本規約は、理事会決議の日から発効し、2012年4月1日から施行する

第6条 本規約の改廃は理事会の決議により行う。

第7条 本規約の施行により、従来の「九州支部規約」は廃止する。

2. 経過措置として、2012年3月31日現在「九州支部規約」に規定される「支部評議員」および「支部総会」の呼称は、運営に支障のない範囲で2012年度に限り利用可能とする。また、2011年度から留任の支部運営委員の任期は、第3条第2項の規定によらず1年とする。

九州支部奨励賞表彰規定

2000.	5.	15	改正
2001.	5.	11	改正
2002.	5.	10	改正
2013.	10.	10	改正
2014.	10.	2	改正
2016.	4.	1	改正

第 1 条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第 2 条 奨励賞対象者は、支部主催の電気・情報関係学会九州支部連合大会（以下、支部連合大会という）、および火の国情報シンポジウム、若手の会セミナーでの発表者で、次の各号に該当するものから選定する。

1. 講演の日以後の4月1日において満35才以下であること。
2. 講演申込の際、講演者として登録しかつ講演を行なったものであること。
3. 本奨励賞を受けたことのない者であること。
4. 講演の時期（講演時点で、入会申請中も含む）において、本学会九州支部会員であること。

第 3 条 受賞者の選定は、当該の支部連合大会および火の国情報シンポジウム、若手の会セミナー終了後速やかに行なう。

第 4 条 奨励賞の対象となる発表論文は、支部連合大会から5編程度、火の国情報シンポジウムから5編程度、若手の会セミナーから1篇程度とする。

第 5 条 奨励賞として賞状および賞牌を授与する。

第 6 条 選定委員会は支部幹事によって構成し、選定委員長は支部長があたる。

